情報はこちらに　本　社 0178(44)5111　青森支社 017(777)5255、5256　三戸支局

販売店
■八戸市
長谷川 0120-18-5818
八戸中央 0120-16-3616
八戸北部 0120-44-8388
川口 0120-12-1867
ニュータウン 0120-08-4756
高瀬 0178(34)1445
妙 0120-55-0370
新井田 0120-25-7083
八戸東部 0120-33-6716
尻内 0178(27)2729
田面木 0178(27)9365
市川 0178(50)1750
河原木 0178(28)7355
八戸 大久 種 市野 島

二八

水田の中 何がいる？

八戸・島守地区で「田んぼの楽校」 30人が生物観察

水田で水生生物を採取する参加者たち

八戸市南郷区の小山田地域資源保全隊（堰端治代表）とアグリメイト南郷普及会（住沢香苗会長）は24日、同区島守地区で今年2回目となる「田んぼの楽校」を開き、市内外から参加した家族連れら約30人が、水田にすむ水生生物の観察やホタルの観賞会などを通じて、自然に親しんだ。

参加者は、6月にコシヒカリを植え付けた4アールの水田に入り、たも網でドジョウやミズカマキリ、トンボの幼生ヤゴなどを採取。がんじゃ里山の会事務局の関下斉さんの解説を聞きながら、バケツに入れて生態などをじっくり観察した。

古里川沿いの市道ではヘイケボタルやヒメボタルを観賞。闇夜を照らす多くのホタルの姿に「素晴らしい」と歓声が上がった。

家族3人で参加した市立白山台小学校2年の橋本萌花さん(六つ)は「カエルの種類を知ることができたし、ヤゴやドジョウなどをいっぱい見ることができて、良かった」と楽しそうだった。

法被姿で「わっしょい」

はっちで夏まつり みこし担ぎ楽しむ 八戸

みこしを担ぎ、館内を練り歩く子どもたち

八戸市と子育て支援施設「こどもはっち」（平間恵美代表）は24日、同市三日町のポータルミュージアム「はっち」で「こどもはっち夏まつり」を初開催した。大勢の家族連れが、みこしを担いで祭り気分を満喫した。

はっちを活用し、親子に楽しい時間を提供しようという狙い。法被を着た子どもたちがみこしを肩に乗せ「わっしょい、わっしょい」と掛け声とともに館内を練り歩いた。愛らしい姿に保護者が盛んにカメラに収めていた。

子どもたちは、お面作りや小麦粘土遊びなども楽しんだ。市内の私立幼稚園の先生たちによる影絵や劇なども披露。5歳の長女と訪れた同市小中野4丁目、会社員工藤直子さん(三七)は「今は子どもを遊ばせる場所が少ないので、こういう催しがたくさんあるとうれしいですね」と話した。

教育の現状や課題 分かりやすく紹介

畑山さんが南部で講演

南部町はこのほど、南部公民館で教育講演会を開いた。本紙で「あっし塾長の　子の……」……子どもの想像力育成が重要と訴えた畑山篤さんやる気　親の気づき」を連載中の八戸市の志学塾塾長畑山篤さんが講師を務め、子育てや地域教育に関する講演に、保護者や町職員ら約40人が聞き入った。

町協働のまちづくり推進事業として開催。畑山さんは、高校受験の毎年の傾向や、高校中退者が毎年700人前後に上る現状、実際に受けた教育相談の内容などを分かりやすく紹介した。

子どものコミュニケーション能力や想像力の育成、経験の重要性などを強調し、「夢はなかなかかなわないもの。夢に向かって努力することが大切だ」と訴えた。

地震想定し 体験型訓練

八戸・田面木地区連町自主防災会

消火訓練でバケツリレーを行う住民たち

八戸市の田面木地区連町自主防災会（下舘政敏会長）はこのほど、市立田面木小学校で、被害者を救出するなど体験型の防災訓練を初めて行い、地域住民が万一に備えた。

これまで年に1度、避難訓練などを行ってきたが、東日本大震災を受けて災害に強い町内会を目指そうと、八戸消防署や地元消防団の協力で実施した。

住民や同署署員ら約70人が参加。M8・0クラスの地震が起きたことを想定し、倒壊家屋からけが人を救出したり、ストッキングやタオルで止血したりする訓練のほか、建物の火災をバケツリレーで消火する訓練などに取り組んだ。

下舘会長は「身近な物を使って訓練することで住民の力で被害を最小限にできるよう、これからも続けていきたい」と話した。

電卓競技

ベストではなかった。全国では自分たちのベストを出して優勝したい」ときっぱり。

8月2日の全国大会に出場する、左から佐々木菜摘美さん、中居美華さん、佐々木望さん

JR八戸駅の新幹線改札復興祈願の像

昆虫の王様 大興奮！ 八